

# ISDA® JAPAN MONTHLY UPDATE

2008年6月

## コミッティ活動

**Regulatory:** 担当森田([tmorita@isda.org](mailto:tmorita@isda.org))

金融商品取引法: 6月23日、ISDAは金商法導入後に残存している課題の解決のため、4月に金融庁と行なわれた会議についてのフォローアップレターを金融庁宛に提出した。残存する課題は、顧客から店頭金融先物取引に対して差し入れられた担保、クレジットデリバティブ取引に関するインサイダー取引除外規定の要件、不動産デリバティブ取引の取り扱い、RAST などオークションメカニズムに基づく決済が金商法上の私的取引システムの開設へ該当するか、など。

**Weather, commodity & developing products:** 担当森田([tmorita@isda.org](mailto:tmorita@isda.org))

排出量取引: 6月26日に経済産業省は京都クレジットの流通基盤整備のための、京都クレジットに関連する様々な分野(金融商品取引関連法制、割当量口座簿制度、京都クレジットの法的性格等)における各種論点をまとめた「京都クレジットの流通円滑化のための更なる基盤整備に向けて」最終報告を公表した。本件につき Japan Emission Trading ワーキンググループ内で検討を行い、ISDAとしてコメントを提出する予定。

**Collateral:** 担当森田([tmorita@isda.org](mailto:tmorita@isda.org))

日本および外資系金融機関25社が参加した「東京市場におけるOTCデリバティブ取引の担保化に関する市場調査」の調査結果が6月に回答者へフィードバックされた。調査の結果、コラテラル取引の金額、契約数ともに継続して増加していることが明らかとなった。

**Credit Derivatives:** 担当難波([knamba@isda.org](mailto:knamba@isda.org))

6月25日、Japan CDS Auction Working Groupの第一回会議が開催された。本邦におけるクレジット・イベントにCDSオークションの仕組みを適用する際の諸問題の検討し、またCDSオークションの仕組みの理解を深めることを目的とした日本語によるガイドラインの作成準備を行う場として、アドホックベースで会議を開催することについて、メンバーの同意を得た。

**Equity Derivatives:** 担当難波([knamba@isda.org](mailto:knamba@isda.org))

6月18日、ISDAはJapan Equity Derivatives Committeeのメンバーに対し、懸案となっていた日本独自のMarket Disruption Event文言を作製することについて、電話会議を重ねた結果、明確なコンセンサスを得るに至らなかった事実を通知した。今後市場関係者の同意を得られれば、ISDAは本邦ヴァリアンススワップ市場におけるMDEの扱いを、AEJやその他の海外ヴァリアンススワップ市場と同様のもの(Calculation Agentによるmateriality determinationの削除など)とする予定。新しいプロポーザルへのフィードバック期間は3週間。

6月27日、ISDAはJapan Client Share/Index Option MCA Working Groupメンバーに対するフォローアップの結果と、その結果に基づく、最終版に向けたドラフトを回覧した。ドラフトへのコメント期限は7月10日。

## コミッティ並びに作業部会会合/コンファレンスの予定

**Operations Committee Meeting**  
(日本語による会合)

7月17日

**JMPF-MNPI Working Group Meeting**

tbc

(日本語による会合)

**CDS Auction Working Group Meeting**

**8 月 (tbc)**

(日本語による会合)

**Property Derivatives Documentation Task Force Meeting**

**tbc**

(日本語による会合)